



デジタルサイネージ

ユーザーマニュアル

法的情報

このドキュメントについて

- この文書には、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどの理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) をご覧ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社 (以下「Hikvision」) は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- このドキュメントは、製品サポートの専門知識を有する専門家の指導と支援を受けてご使用ください。

この製品について

- この製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- お選びいただいた製品がビデオ製品の場合は、以下の QR コードをスキャンして「ビデオ製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権の承認

- ヒクビジョンは、本文書に記載される製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。これには、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなど）は、Hikvision に帰属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なく、その全部または一部を、いかなる手段によっても、抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他のヒクビジョンの商標およびロゴは、各管轄区域においてヒクビジョンの財産です。
- 他の商標およびロゴは、それぞれ該当する所有者の財産です。
- **HDMI**™ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は「現状有姿」かつ「一切の瑕疵およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証は一切行いません。

満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、いかなる保証もいたしません。本製品の使用は、お客様の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない、特別、結果的、偶発的、または間接的な損害について、お客様に対して責任を負わないものとします。システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合、HIKVISIONは一切の責任を負いません。これは、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合でも同様です。

- お客様は、インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、サイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、HIKVISIONは一切の責任を負わないことを認めます。ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISIONはタイムリーな技術サポートを提供します。
- あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任は、あなただけに帰属します。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用を含みます。
- 本文書と適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

©杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社。著作権所有。

適用対象モデル

このマニュアルはデジタルサイネージに適用されます。

記号の規約

本ドキュメントに記載されている記号は、以下のとおり定義されます。

記号	説明
 Note	本文の重要なポイントを強調したり補足したりするための追加情報を提供します。
 Caution	潜在的な危険な状況を指示し、回避されない場合、機器の損傷、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
 Danger	回避しなかった場合、死亡または重傷につながる可能性の高い危険性を示します。

目次

第1章 序論	1
第2章 注意事項と操作手順	2
2.1電源ケーブルの使用	2
2.2清掃とメンテナンス	3
2.3設置時の注意事項	3
2.4リモコン	4
第3章 起動とシャットダウン	5
3.1デバイスの起動	5
3.2シャットダウン	5
第4章 インテリジェントアプリケーション	6
4.1ホームページ操作	6
4.2設定	7
4.3FocSign プレイヤー	7
4.3.1 有効化	7
4.3.2 デバイスを追加	8
4.3.3 デバイスページでの操作	12
4.3.4 USB フラッシュドライブ経由でリリース	12
4.3.5 FocSign エディター経由でリリース	13
4.4ファイルブラウザ	14
4.5WonderCastServer	15
4.6システムにプリインストールされているアプリケーション	15
第5章 システム設定	17
5.1ネットワークの設定	17
5.1.1 有線ネットワークの設定	17
5.1.2 ワイヤレスネットワークの設定	17
5.1.3 ホットスポット設定	18
5.1.4 Bluetooth	19
5.2ディスプレイ設定	19
5.3オーディオ設定	20
5.4アプリ管理	20
5.5ストレージ管理	21
5.6セキュリティ	22
5.7システム	22
5.7.1 概要	22
5.7.2 日付と時間	23
5.7.3 言語と入力	23
5.7.4 その他の情報	23
5.8詳細設定	24

第1章 概要

デジタルサイネージ（以下、「本装置」という）は、ベゼルが狭く、スリムな本体、超薄型の背面シェルデザインを特徴とする4辺が等しいデザインを採用しています。シンプルな配線ガイド溝により、電源ケーブルと信号ケーブルを合理的に配線、管理することができます。

デジタルサイネージは、横向きと縦向きを自由に切り替えられ、複数のウィンドウで画像やビデオを同時に再生することができます。500～700 nitの高輝度、高防曇性のプロフェッショナル用商業用ディスプレイ画面により、明るい環境でもコンテンツを鮮明に表示でき、スマート広告やインテリジェントプロモーションに広く使用されています。

主要な特徴

- 超狭額縁、均一な額縁デザイン。
- 超薄型バックシェルデザインにワイヤーガイド溝を搭載。
- より詳細な画像表現を実現する4K HD画質。
- 飽和した高色域、クリアで広い視野角。

第2章 注意事項と操作方法

本製品の液晶パネルは、高精度な技術により製造されています。しかし、画面上に常に点灯している、または消えない小さな点、横から見たときに色や明るさが不均一に見える場合があります。

明るさが不均一に見える場合があります。ただし、上記の現象はLCDディスプレイの一般的な特性であり、故障ではありません。これらの現象はデバイスの性能に影響を及ぼしません。

- 当社では、本装置の操作時に第三者による故障、またはその他の故障や損傷については一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険があるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が接触する環境では使用しないでください。
- 直射日光や強い光源の近くには置かないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くに置かないでください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 装置を不安定または安全でない表面に置かないでください。強い衝撃、振動、または振動を避けてください。
- 火災の危険を避けるため、加熱装置の近くや高温の場所では本装置を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ移動した場合は、すぐに電源を入れないでください。
環境から移動した場合は、すぐに電源を入れないで、結露が蒸発するまで待ってください。
- 装置内にいかなる物体も挿入しないでください。
- 装置の上に重い物を置かないでください。
- 本製品および付属品は、予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイの材質は壊れやすく、落下や衝撃に弱いです。取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグや操作中に不適切な操作を行うと、機器に損傷を与える可能性があります。
- 硬い物で本機を傷つけたり、叩いたりしないでください。動作中に電源を頻繁にオン/オフすると、故障や損傷の原因となります。
- 本製品から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が正しく接地されており、シェルに貼付されているプレートに記載されている要件を満たしていることを確認してください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の場合は、電源プラグとアンテナを取り外してください。
- 本装置を長期間使用しない場合。本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分ほど待ってから、本装置の操作を行ってください。
- 本製品には、本製品に付属の電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入するには、認定販売店にお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグおよびコンセントに、ほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から離して保管してください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から保護してください。
- このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他のデバイスには使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 後部ケースの穴は放熱用です。後部ケースに液体をかけて噴射したり、湿った布で清掃したりしないでください。
- 清掃を行う場合は、電源プラグを必ず抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- デバイスを清掃する際は、乾いた柔らかい布を使用し、ほこりのない状態で清掃してください。
- 内部清掃が必要な場合は、サービスセンターまでご連絡ください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を防止できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態で保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、または工業用化学薬品でデバイスを清掃しないでください。異物がデバイス内に侵入しないようにご注意ください。
- 装置のメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご連絡ください。装置が損傷した場合、当社までご連絡ください。無断でのメンテナンスは行わないでください。

2.3 取り付け時の注意事項

- 最高の性能を発揮するため、設置前にデバイスの画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカーが提供するウォールマウントまたはベースのみを使用してください。
- 壁への取り付けは、専門スタッフにご依頼ください。
- 設置前にアクセサリを確認してください。不足している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。
- デバイスを過度に締め付けしないでください。そうすると画面が歪む可能性があります。
- 本機は耐荷重のある壁に取り付けてください。
- 本機を安定した場所に置いたり、壁にしっかりと固定してください。

- 電源接続が容易な、使用可能な AC 電源ソケットの近くに本機を設置してください。信号の干渉を防ぐため、他の機器と同じアースケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くに装置を設置しないでください。
- 昆虫が容易に侵入できる環境に本機を設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口に直接向けて置かないでください。結露を防ぐためです。
- 強い電磁場内に装置を置かないでください。無線干渉を避けるためです。

2.4 リモコン

マウスを接続して操作するほか、赤外線リモコンも使用できます。操作方法は、以下の画像をご覧ください。

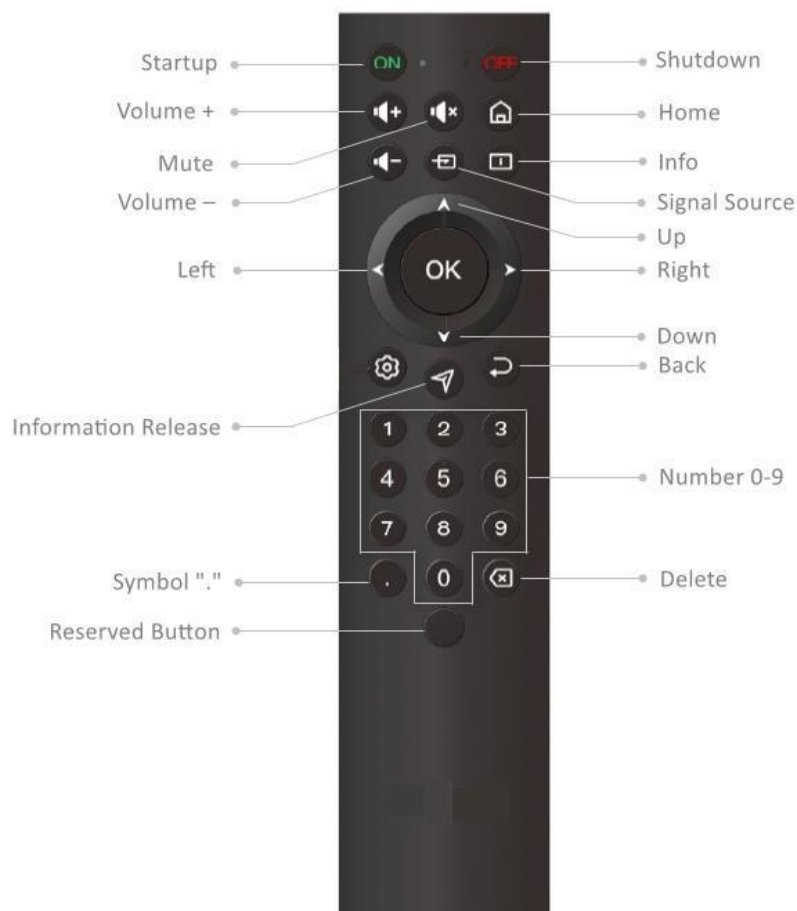


Figure 2-1 リモコン

Note

リモコンはバージョンによって異なる場合があります。実際の状況をご確認ください。

第3章 起動とシャットダウン

3.1 デバイスの起動

電源に接続すると、自動的に起動します。

3.2 シャットダウン

電源を直接切断するか、リモコンの電源ボタンを長押しして、デバイスの電源をシャットダウンすることができます。



電源を抜き、リモコンの電源ボタンを押しても、電源は完全にオフにはなりません。
デバイスの起動を開始することができます。



第4章 インテリジェントアプリケーション

4.1 ホーム画面の操作

Note

ソフトウェアのインターフェースおよび機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。このマニュアルの写真はすべて、説明のために使用されているものです。

デバイスの電源を入れ、ホームページに移動します。



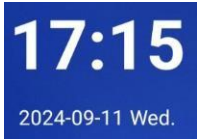
Figure 4-1 ホーム画面

Note

メイン画面のアプリケーションのアイコンを長押しして、以下の操作を実行できます:

- アプリケーションを画面間移動します。
- アプリケーションを他のアプリケーションとフォルダーに統合します。

Table 4-1ホーム画面の基本操作

アイコン	説明
	ホーム画面の時刻または日付をクリックして設定を表示します。詳細については「 5.7.2 日付と時刻 」を参照してください。
	有線ネットワーク、無線ネットワーク、ホットスポット、Bluetooth の詳細設定を行うには、をクリックします。詳細については、「 5.1 ネットワーク設定 」を参照してください。
	クリックして通知を表示します。

4.2設定

クリックしてシステム設定に入ります。詳細については「**第5章 システム設定**」を参照してください。

4.3FocSign Player

FocSign Playerを有効にすると、FocSign Player経由でデバイスにプログラムを表示できます。

4.3.1 Activate

手順

- Step 1** ホーム画面で「**FocSign Player**」アプリケーションをクリックします。
- Step 2** ポップアップウィンドウで、独自のパスワードを設定します。

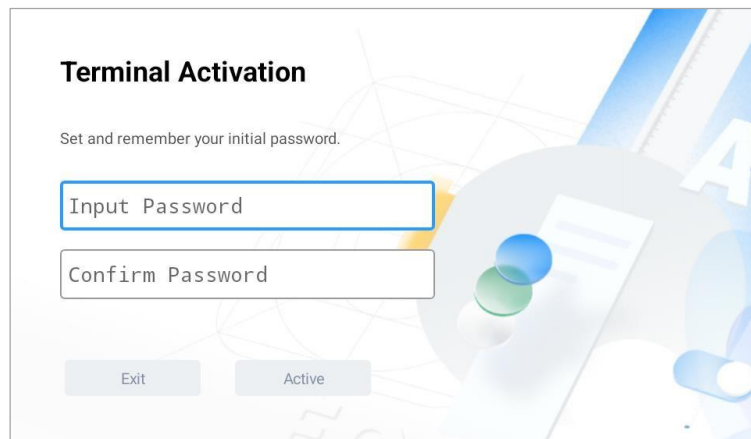


Figure 4-2ポップアップウィンドウ

 Note

パスワードを必ずお忘れにならないようご注意ください。このパスワードは、以降の操作で頻繁に使用されます。パスワードを忘れた場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Step 3 (オプション) パスワード保護を有効にします。パスワード保護を有効にすると、デバイスのセキュリティを保護するために、詳細情報ページで設定を行うたびにパスワードを入力する必要があります。

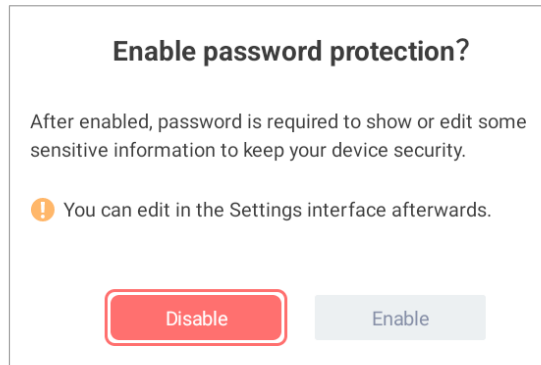


Figure 4-3 パスワード保護を有効にする

4.3.2 Add Device

FocSign Playerを起動後、サーバーを登録するか手動で追加することで、デバイスを追加できます。

自動登録

手順

Step 1 アクティベーション後にポップアップウィンドウで「登録」をクリックします。または、詳細情報ページに移動し、「情報表示」をクリックします。→ 「再接続」をクリックして登録します。

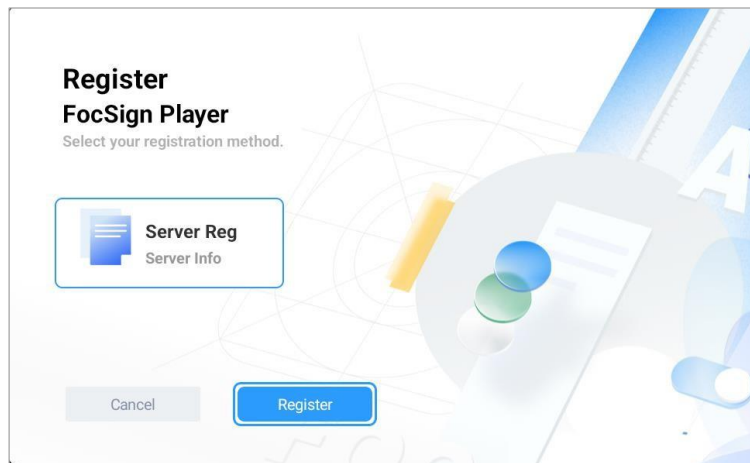


Figure 4-4 ポップアップウィンドウで登録

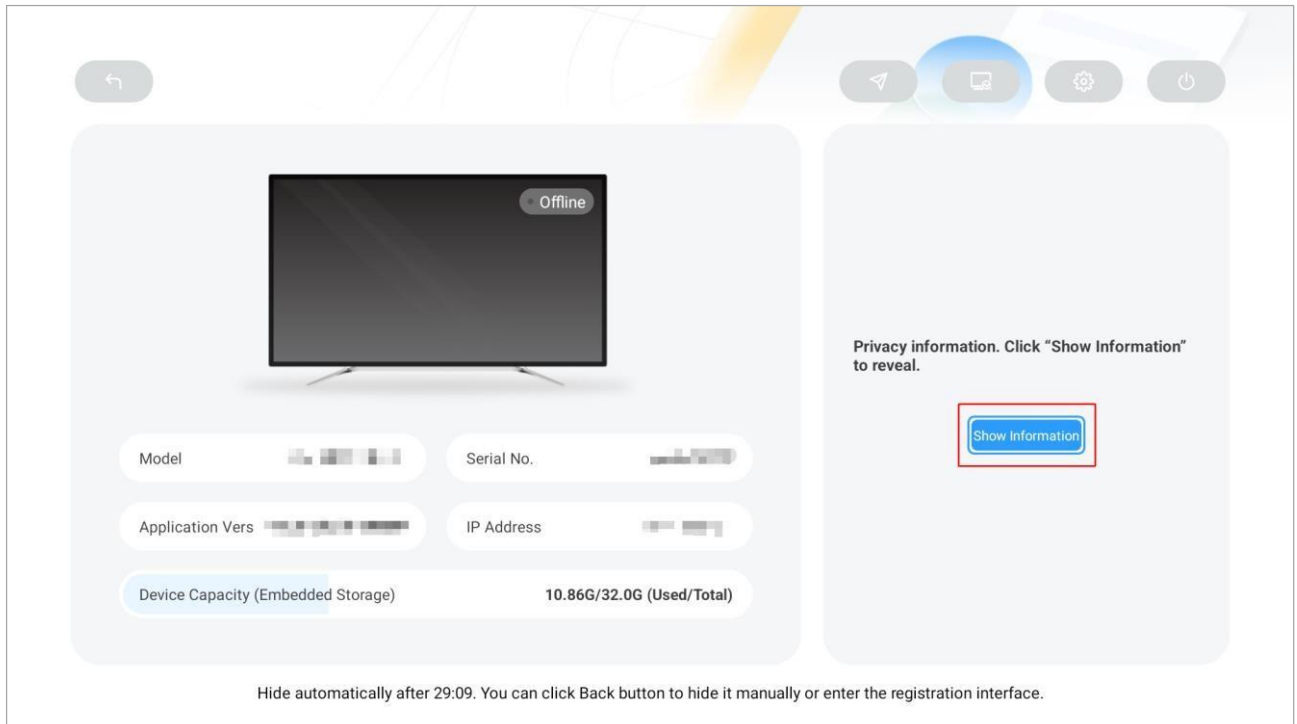


Figure 4-5 「Show Information」をクリックして登録します。

Step 2 HikCentral FocSign Web クライアントのデバイス名（カスタム）、サーバーアドレス、ポート番号、および認証コードを入力します。**OK**をクリックします。

Figure 4-6サーバー設定

Note

- サーバーアドレスは、プラットフォームクライアントから取得できます。
- ポート番号は、デフォルトでは 7660 です。プラットフォームでカスタマイズすることができます。
- 認証コードは、デバイスをプラットフォームに追加する際の二次認証に使用されます。プラットフォームに入力された認証コードとデバイスに入力された認証コードが一致した場合のみ、デバイスが正常に追加されます。

Step 3 詳細情報ページを入力し、FocSign Playerの基本設定が完了します。

Step 4 HikCentral FocSign Web クライアントで、[デバイス管理] に移動します。→ デバイスおよびサーバー → デジタルサイネージ端末 → Auto Registration → デバイス上で「自動登録で追加」を選択します。

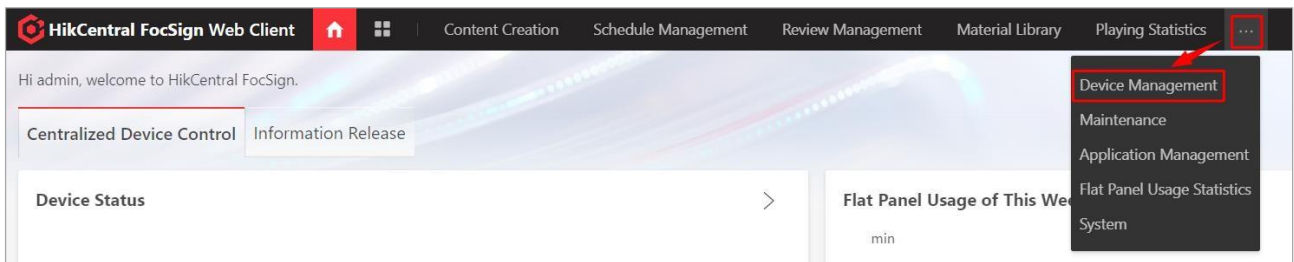


Figure 4-7 デバイス管理

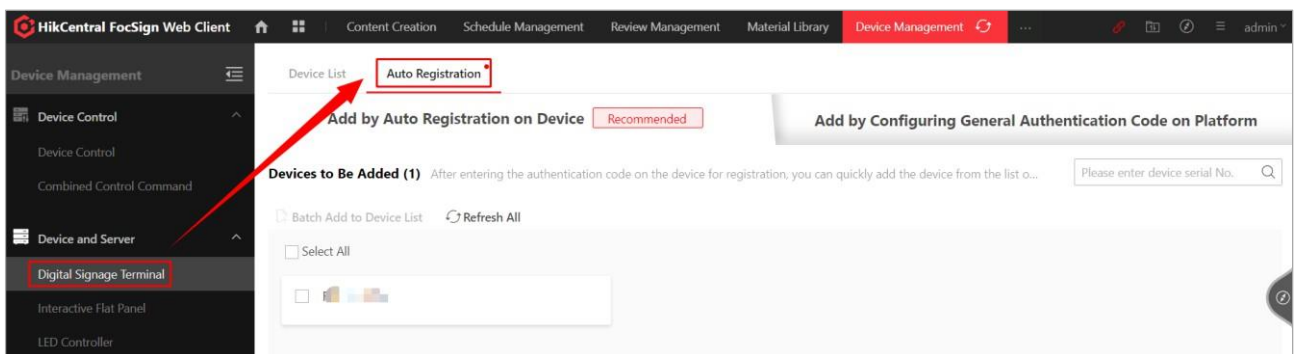


Figure 4-8 自動登録

Step 5 デバイスでのサーバー設定が完了したら、[すべて更新] をクリックします。プラットフォーム上でデバイスが見つかった場合、デバイスの [Offline] が [Online] に変更されます。

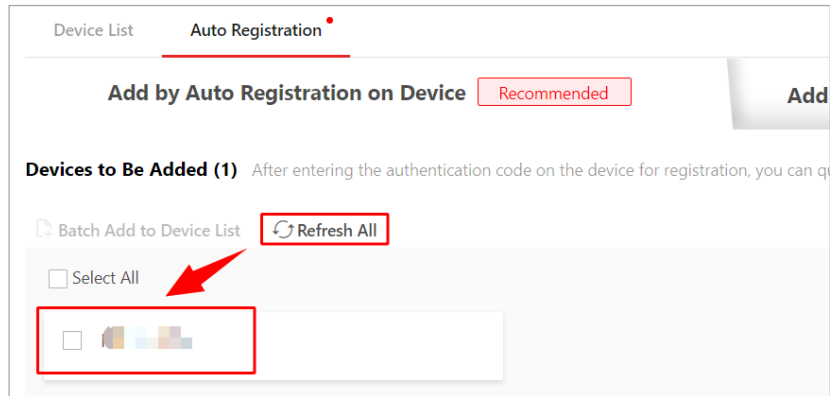


Figure 4-9リフレッシュでデバイスを検索

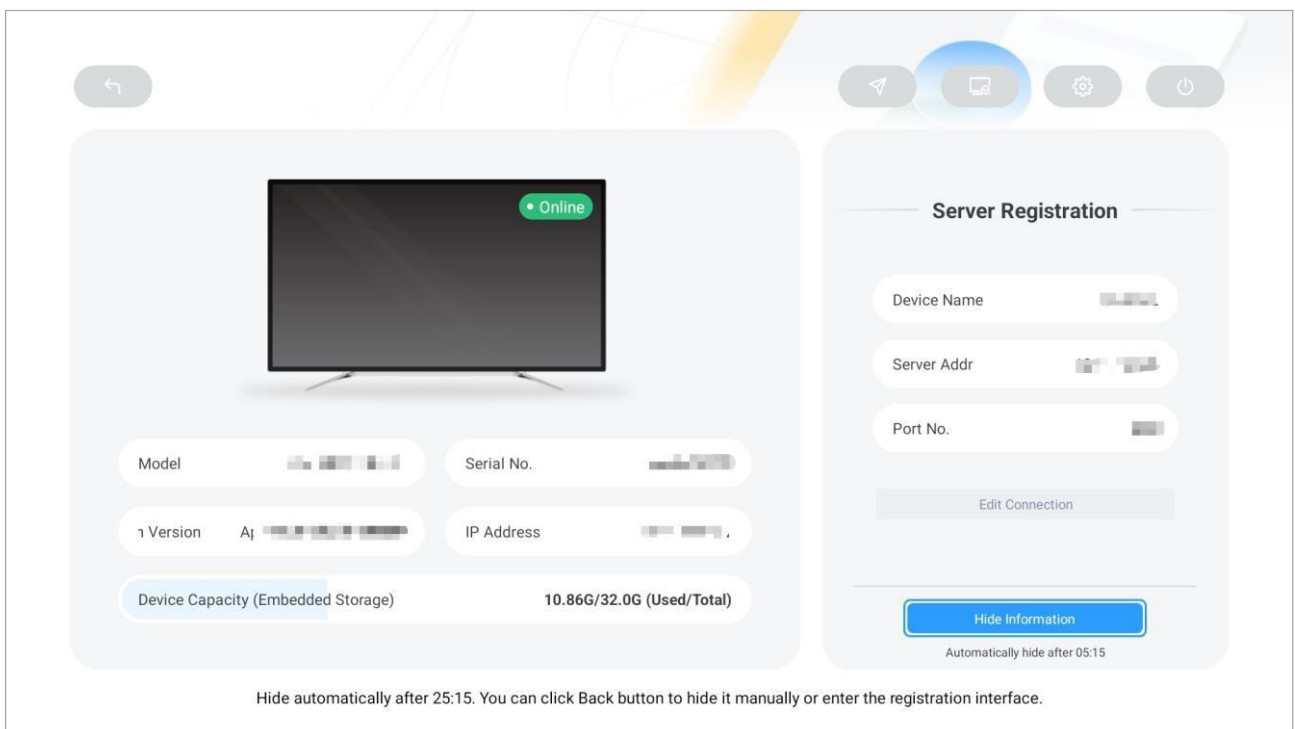


Figure 4-10詳細情報ページ

手動で追加

HikCentral FocSign Web クライアントのユーザーマニュアル（第 5.1.1 章）を参照してください。

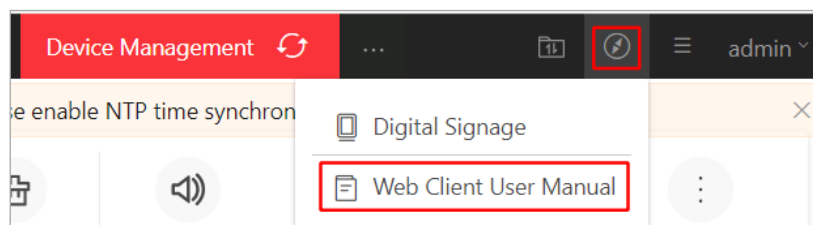


Figure 4-11ユーザーマニュアルを取得



ユーザーマニュアルには、その他の必要な操作も記載されています。例：コンテンツの作成、コンテンツの公開。

4.3.3 Operations on Device Page

ページの上部には5つのボタンがあります。

Table 4-2 ボタン 説明

アイコン	説明
	プログラム画面に戻るをクリックします。
	FocSign Editor アプリケーションに移動します。詳細については、ユーザーマニュアルの「 4.3.5 FocSign Editor によるリリース 」をご覧ください。
	デバイスネットワークの状態、ストレージサービスなどを検出します。
	● パスワード保護を有効にするかどうかを選択します。 ● プログラムを組み込みストレージに強制的に保存するかどうかを選択できます。または保存しないを選択できます。 ● デバイス情報を画面の左下隅に表示するか非表示にするかを選択できます。例：デバイスがオフライン時の通知。 ● ライブビューストリームメディアプログラムのウィンドウで、フレームレートとネットワーク速度を表示または非表示にするかどうかを選択します。
	クリックしてFocSign Playerを終了します。

4.3.4 Release via USB Flash Drive

プラットフォームでのプログラムの公開に加え、USBフラッシュドライブを挿入して公開することもできます。

開始前に

- FocSign Playerがアクティブ化されています。
- 設定→セキュリティに移動し、ストレージの禁止を無効にします。

手順

Step 1 USB フラッシュドライブのルートディレクトリに「infoData」という名前のファイルを作成します。

Step 2 (オプション) 素材ファイルに名前を付けます。命名規則は「番号_ファイル名.mp4/jpeg」です。例：1_material.mp4、22_material.jpeg。



数字は5桁以内にしてください。

Step 3 (オプション) 「infoData」に config.txt ファイルを作成し、txt ファイルに「time=10s」と入力します。10 は画像の切り替え時間であり、デフォルトの時間は 10 秒です。この数字を編集して、USB フラッシュドライブを再度挿入してください。画像は、対応する時間ごとに切り替わります。

Note

時間は10秒から604800秒の範囲内である必要があります。設定した数値が範囲外の場合、切り替え時間はデフォルトの10秒になります。

Step 4 USBフラッシュドライブをデバイスに挿入し、パスワードを入力してください。デバイスは自動的にフルスクリーンでプログラムを実行します。

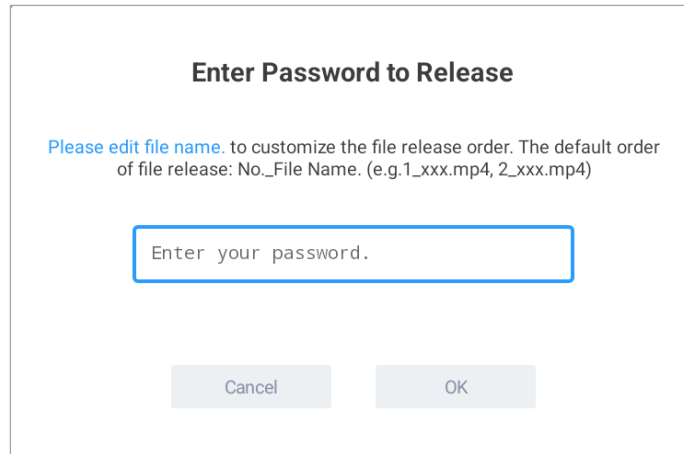


Figure 4-12 パスワードを入力して解放してください。

Note

- 素材名をカスタマイズした場合、再生順はファイル番号の順番になります。
- 素材名をカスタマイズしていない場合、ファイルは最後に編集した順に再生されます。最後に編集したファイルが最初に再生されます。また、画像は最初に再生され、その後ビデオが再生されます。

4.3.5 Release via FocSign Editor

FocSign Editorは、デジタルサイネージでプログラムを作成・配信できるローカル編集ソフトウェアです。ユーザーマニュアルは、以下のQRコードをスキャンしてご確認ください。



Figure 4-13 FocSign Editor ユーザーマニュアル

4.4 ファイルブラウザ

ホーム画面で「ファイルブラウザ」をクリックします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。画像、ドキュメント、AV、インストールパッケージをタップすると、指定したファイルを表示できます。

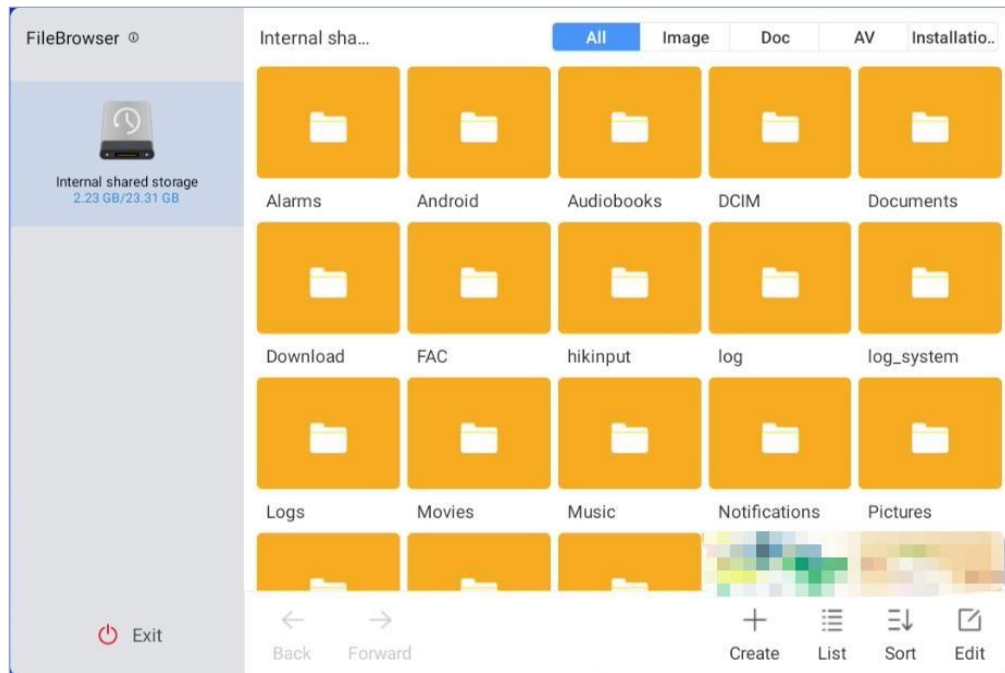


Figure 4-14 ファイルブラウザ

アイコンは次のように説明されています。

Table 4-3 FileBrowser アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	作成	新しいフォルダーを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリスト表示で表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	/	/

クリック  をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能は以下に説明されています。

Table 4-4編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべてを選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダーにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダーに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押しして、その他の操作を実行します。

4.5 WonderCastServer

PCやスマートフォン画面をデジタルサイネージにミラーリングできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 4-15 WonderCastServer ユーザーマニュアル

Note

WonderCastの機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。実際のアプリケーションの状況をご確認ください。

4.6 システムにプリインストールされているアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションを簡潔に説明しています。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントをご確認ください。

Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 4-5システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ファイルブラウザ	ファイルを管理します。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の画像を表示するために使用されます。
AM Player	AM Playerは、完全な機能を備えたメディアプレーヤーです。
WonderCastServer	デバイス、スマートフォン、またはPCを接続して画面ミラーリングを行うためのアプリケーションです。

第5章 システム設定

5.1 ネットワーク設定

ネットワークの状態は、画面の下部に表示されます。

Table 5-1 ネットワークの状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続しています。
	ネットワークに接続されていません。

5.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 [設定]、[→]、[ネットワーク]、[→]、[有線ネットワーク] の順に

Step 2 選択します。有線ネットワークを有効にします。

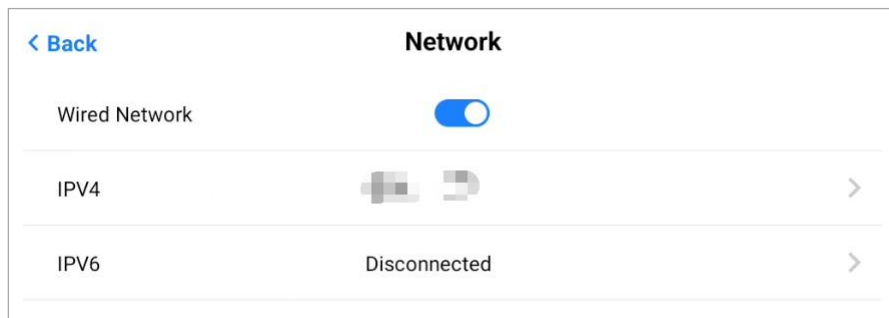


Figure 5-1 有線ネットワークの設定

5.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 [設定]→ [ネットワーク]→ [ワイヤレスネットワーク] に移動します。

Step 2 WLAN を有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりすることができます。

利用可能なネットワークに接続する

利用可能なネットワークのリストから目的のネットワークをタップし、接続するためのパスワードを入力します。

その他のネットワークを追加する

手順

Step 1 [その他のネットワーク] をタップします。

Step 2 ネットワーク名を入力し、**セキュリティ** を選択します。

Figure 5-2 その他のネットワークを追加

Step 3 (オプション) プロキシとネットワークの IP タイプを選択します。

Step 4 **接続** をタップして、追加したワイヤレスネットワークにデバイスを接続します。

5.1.3 Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、ホットスポットを有効にして他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供することができます。

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポット **Step 2** ポータブル

WLAN ホットスポットを有効にします。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

Figure 5-3 ホットスポット設定

Note

デバイスが2.4 GHzと5 GHzの両方をサポートする場合、**AP周波数**に5 GHzを設定し、**APチャンネル**には推奨チャンネルを選択することで、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能の動作がよりスムーズになります。

5.1.4 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどは **Bluetooth** 経由で接続でき、ファイル転送も実行できます。

Bluetoothを有効にして、周辺にある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップしてください。

5.2 ディスプレイ設定

[設定]、[→]、[ディスプレイ] の順に選択し、明るさや画面の回転などのパラメータを調整します。

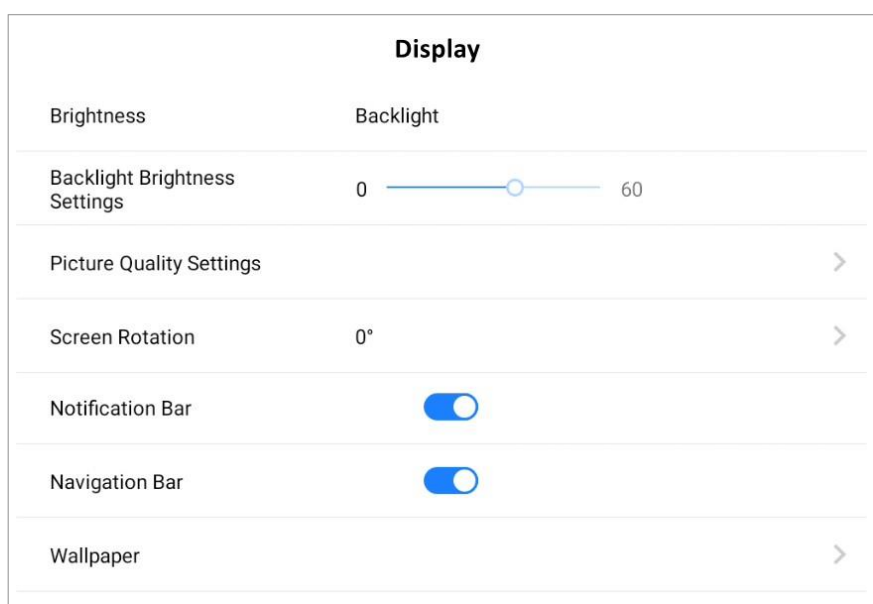


Figure 5-4 ディスプレイ設定

バックライトの明るさ設定

スライダーを動かして画面の明るさを調整します。

画像品質設定

クリックして、**画像モード**、**コントラスト**、**彩度**、**シャープネス**、**色温度**を調整します。画面の回転

クリックして、画面の回転角度を設定します。

通知バー

通知バーを表示する。

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーを表示する。

壁紙

ギャラリーまたは壁紙 & スタイルから壁紙を選択します。

5.3 オーディオ

手順

- Step 1 設定→オーディオに移動して、オーディオパラメータを設定します。
- Step 2 音量の値を調整します。
- Step 3 [タイマー付きオーディオ] を有効にします。この機能は、HikCentral FocSign Web クライアントで設定できます。

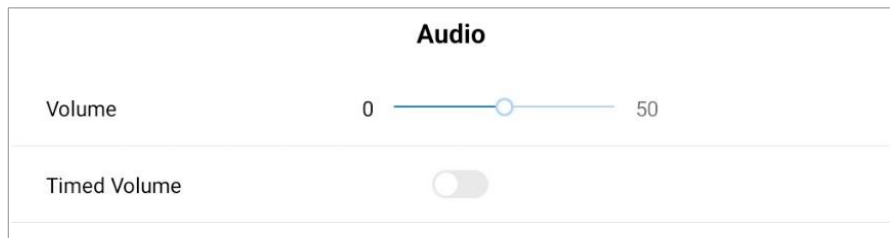


Figure 5-5オーディオ設定

5.4 アプリ管理

手順

- Step 1 [設定]、[→]、[アプリ管理] の順に移動します。
- Step 2 **起動時に実行** をクリックして有効にします。デバイスの起動時に実行するアプリケーションを選択できます。
- Step 3 「デフォルトのアプリ」をクリックして、デフォルトの**ブラウザアプリ**と**ホームページアプリ**を設定します。詳細を確認するには、希望のアプリケーションをクリックします。
- Step 4

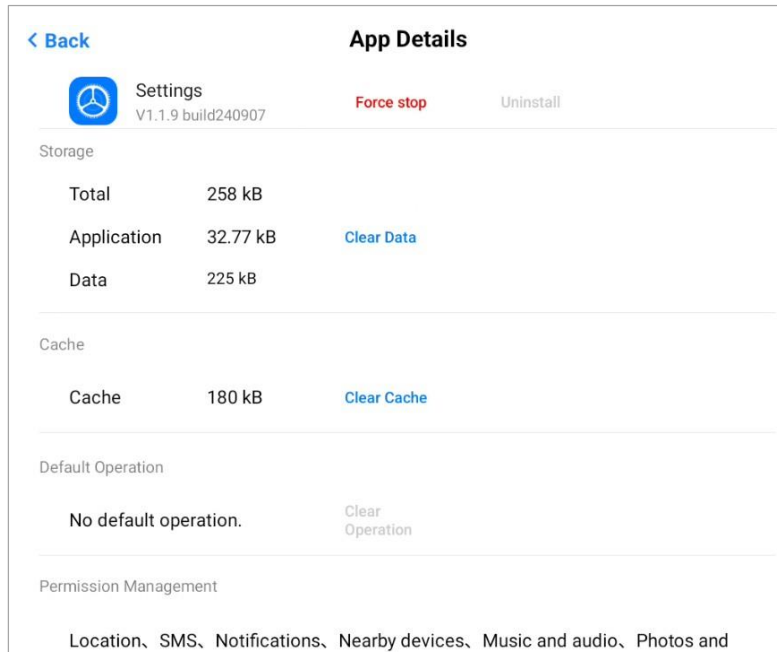


Figure 5-6 アプリケーションの詳細

Note

組み込みのアプリケーションはアンインストールできません。アプリケーションの詳細をタップすると、アプリケーションを開くことができます。

5.5 ストレージ管理

ストレージ管理をクリックして、詳細なストレージ情報を表示します。

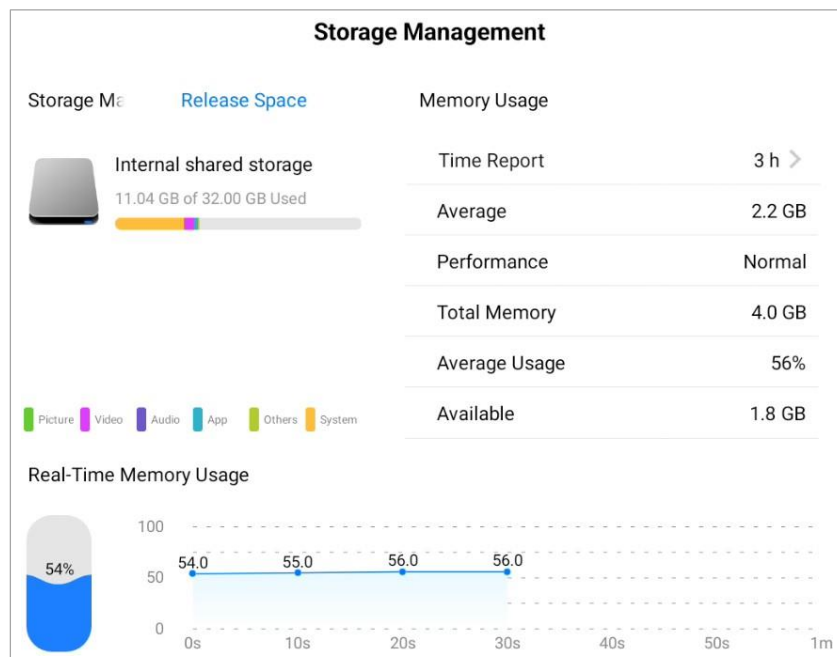


Figure 5-7 ストレージ管理の詳細

5.6 セキュリティ

セキュリティ設定を設定するには、[設定]、[→]、[セキュリティ]の順に移動します。設定を有効にするには、**アクティベーションコード**を入力する必要があります。

が必要です。



ここで使用するアクティベーションコードは、デバイスに初めてアクセスした際に設定したパスワードです。

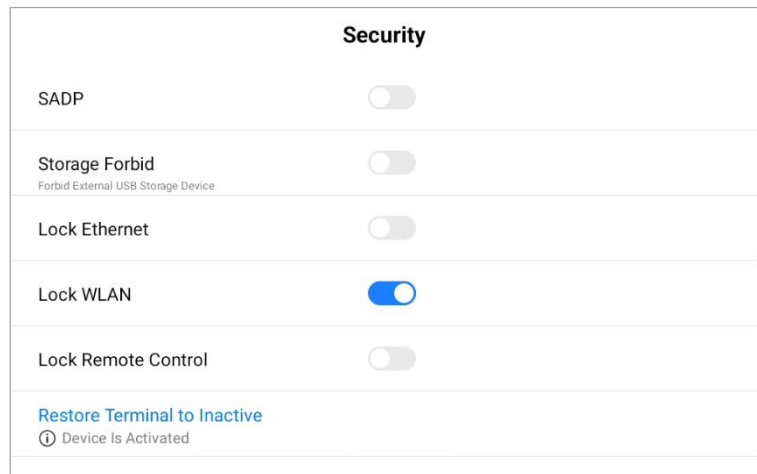


Figure 5-8 セキュリティ設定

5.7 システム

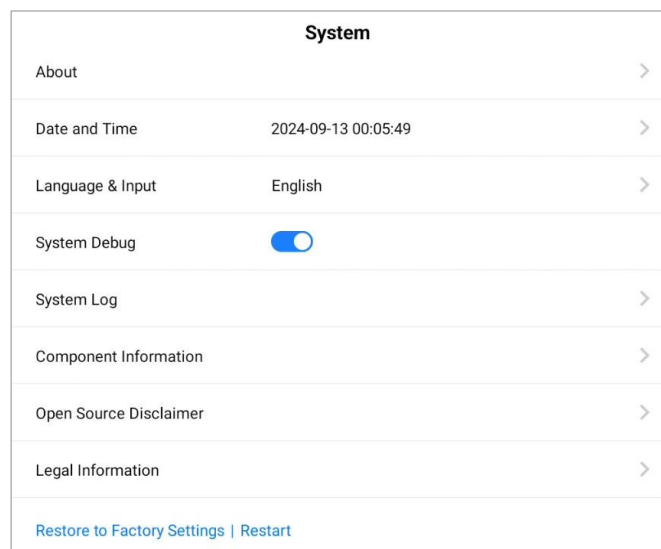


Figure 5-9 システム設定

5.7.1 About

クリックすると、デバイスモデル、シリアル番号、Android バージョンなどのデバイス情報が表示されます。

5.7.2 Date and Time

< Back		Date & Time
24-Hour Format	☒	
Time Sync. Mode	NTP Time Sync. >	
Time Sync. Type	IP Address Mode >	
IP Address	[Redacted] >	
Port No.	123 >	
Time Sync. Frequency	10080min >	
Set Date	2024-09-12	
Set Time	16:50:21	

Figure 5-10 日付と時刻の設定

Step 1 時間同期モードを選択します。

- 手動時刻同期モードを選択した場合、日付と時刻を手動で設定できます。
- NTP 時刻同期モードを選択した場合は、時刻同期タイプ（IP アドレスモードまたはドメイン名モード）を選択し、IP アドレス/ドメイン名、ポート番号、および時刻同期の頻度を入力してください。

Step 2 タイムゾーンを選択するには、[タイムゾーンを選択] をクリックしてください。

Step 3 (オプション) 24 時間形式で時刻を表示するには、24 時間形式を有効にします。

5.7.3 Language & Input

手順

Step 1 Go to Settings→ System→ Language & Input. Language をクリック

Step 2 して、ご希望の言語を選択してください。

Step 3 「入力方法」をクリックして、希望の入力方法を選択します。

< Back		Language & Input
Language	English >	
Input Method	Pad Input Method >	

Figure 5-11 言語と入力の設定

5.7.4 Other Information

「その他の情報」をクリックしてシステムデバッグを有効にし、システムログ、コンポーネント情報、オープンソース免責事項および法的情報、工場設定への復元、およびデバイスの再起動を確認してください。

5.8 詳細設定

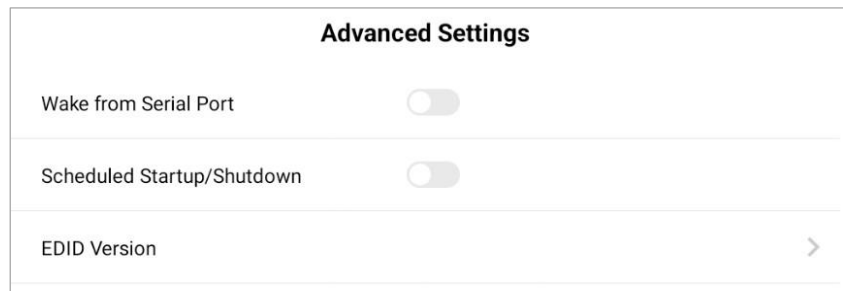


Figure 5-12 詳細設定

シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動することができます。

スケジュールされた起動/シャットダウン

起動とシャットダウンのスケジュールを設定します。

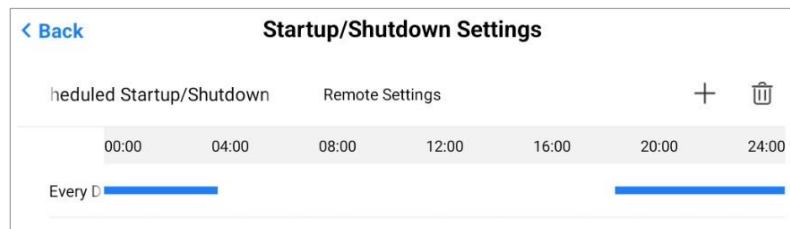


Figure 5-13 スケジュールされた起動/シャットダウン設定

EDIDバージョン

EDIDのバージョンを選択できます。



See Far, Go Further